

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／12日（月）	高田（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 経済政策について</b></p> <p>新型コロナウイルスまん延、ウクライナ侵攻、世界的異常気象、円安等のさまざまな影響を受け、来る10月をピークに値上げラッシュが続く。増えない所得、減らされる年金、増える公的負担金がじわじわと家計のエンゲル係数を押し上げ、生き辛さを相談される方が増えている。経済は生産・分配・消費の総合的な活動であるが、その活動を活性化させ、市民に明るい日々を過ごしていただけるための本市の政策について尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年にわたるコロナ禍での当市の経済活動状況を、把握しているデータを基に実情に即し、コロナ以前と比較して端的に聞きたい。</li> <li>○ 今後考えられる第一次産業における肥料や燃料費の値上がり、第二次産業における資源、資材や燃料費の高騰、第三次産業における消費活動の減退などを加味し、どのような状況になっていくと予測しているか。</li> <li>○ 現在、コロナ禍での経済活動は、行動自粛要請に伴う補助金政策からウイズコロナの経済政策にかじ取りをされつつあるが、本市としてはどのようなビジョンで取り組むのか。また現実には具体的なカンフル剤となる対策としてはどのようなことを考えているのか。</li> <li>○ 地域経済循環率をどう捉えているのか。また何を目標に設定しているのか。また地域経済循環率に対してどのような政策を考えているのか。</li> </ul>
			<p><b>2 防災と減災について</b></p> <p>去る8月4日の記録的短時間大雨情報が発令された災害後に大雨による対策の状況の報告があったが、その内容から知り得ることとして、1日当たりの降水量が211<sup>ミリ</sup>と観測史上最大であった気象台の雨量の情報や、赤根川・清滝川・石徹白川の県管轄の一級河川についてのみで、市は県に対して要望しかできないとの説明を受けた。しかし、実際に被害を受けた場所は、新堀川・善導寺川の流域ではないか。それを踏まえて問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報告によると今回が観測史上最大の降水量であったなら、過去2番目、3番目の降水量はいつであったか。その時の被害はどうであったか。</li> <li>○ 報告のあった8月4日の被害の原因についての市独自の原因分析や考察はなかったが、その理由は。</li> <li>○ 記録的短時間大雨情報の発令を受け8月4日には対策本部が立ち上がったが、市長、副市長、担当部長の3人が不在の場合、対策本部の指令系統のトップは誰に委ねるのか。危機管理として十分であったかどうかの検証をしているか。しているのであればその結果は。</li> </ul>

令和4年9月 第429回大野市議会定例会

<p>一般質問 (第1日) ／ 12日 (月)</p>	<p>高田 (新風会・公明)</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p><b>3 泉町2・3区、清瀧区の下水道について</b></p> <p>8月22・23・24日に泉町、清瀧区の下水道工事の説明会が行われた。担当職員の説明や対応は前回の説明会での質問を踏まえた丁寧なもので、参加された住民はそれなりに理解されたのではないかと感じた。参加されていない方も含め、一軒一軒回るといことなので引き続きよろしく願います。</p> <p>その後、住民の意見を聞き、下記について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 去る8月4日に記録的短時間大雨情報が発令された際に、当地区では床上浸水被害が確認され、流雪溝から道路に水が溢れる状況であったが、水害時に下水道は大丈夫なのか。想定される被害があれば聞きたい。</li> <li>○ 工事中は地下水質への影響が懸念されることに対し、上水道から給水管を仮設する対応を行い、工事後に水質検査を行ってから取り外すという説明であった。事前に水量検査を行っていると認識しているが、水量についてはどのように考えるか。</li> </ul>
---	------------------------	------------------	---

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／ 12日 (月)	榮 (日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症の対応について</b></p> <p>○ これまでの新型コロナウイルス感染症の対応では、最初に小中学校の一斉休校、アベノマスク、人の行動の制限があり、そこから緩和の方向となっているが、重症化リスクと診療体制はどうか。予防、早期発見・早期治療の原則から、検査体制はどのようになっているか。</p>
			<p><b>2 平成の湯の再開について</b></p> <p>○ 去る7月議会において、平成の湯の再開が市の直接管理で予算化されたことで、地域の人はいつ再開されるのか待ちわびている。予算執行はいつ行われるのか。</p>
			<p><b>3 福祉灯油の制度設置について</b></p>
			<p>○ 大野市において福祉灯油の制度設置をかたくなに拒否している理由は、その他の生活支援制度があるからなのか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／12日（月）	林（新風会・公明）	一問一答方式	<p><b>1 機動的で信頼ある行政運営に向けて</b></p> <p>さまざまな計画やビジョンにおいて「市民と行政による協働」がうたわれているが、行政を担う職員は、全体の奉仕者としての自覚とともに市民や事業者の置かれている状況を的確に把握して施策に反映する力が求められている。同時に、時代の変化への対応を怖がらず、「誇れるまち大野市づくり」に前向きに取り組む職員を育てる組織でなければ、市民や事業者の共感は得られず、信頼も回復せず、協働のまちづくりは進まない。</p> <p>令和3年度から組織機構を大幅に変更した上で「デジタル政策推進事業」など民間企業の協力も得ながら自治体DXに取り組んでいることから、次の点を問う。</p> <p>○ 自治体DXの取り組みによる事務事業への反映状況と現在の組織における成果と課題をどう捉えているのか。</p>
			<p><b>2 大野に住み続けるための交通インフラ整備について</b></p> <p>9月30日まで、市民からの意見（パブリックコメント）を募集している（改訂）大野市都市マスタープラン（案）では、「市街地」「田園集落」「山間」のそれぞれの地域の特性を生かして、「結の心」とそれを補う「DX」をベースに住み続けられる地域づくりを進めるとし、持続可能な移動システムを構築する方針を打ち出している。</p> <p>また令和6年度から新たな交通体系に移行する予定であり、交通弱者への対応だけではなく観光誘客による利用など、あらゆる分野に関わる重要な公共交通体制が求められることから、次の3点を問う。</p> <p>○ JR越美北線は市民の日常利用のほか、沿線魅力化と駅からの二次交通充実による観光需要を取り込むことが重要となる。越前大野駅周辺活性化に向けた高校生ワークショップで出された提案にはどのようなものがあったのか。また、終着駅である九頭竜湖駅から九頭竜湖畔や県境等を巡る二次交通の確保に関する取り組み状況は。</p> <p>○ 星空保護区の認定や活性化事業に着手する六呂師高原を市内の飲食・宿泊事業者の「稼ぐ力」につなげて、夜の観光・ナイトタイムエコノミーを充実していくためにも、夜間における移動手段の確保が重要となるが交通事業者の実態や支援のあり方など検討は行っているのか。</p> <p>○ さまざまな主体による交通手段の確保として自家用有償旅客運送制度があるが、阪谷地区での検討状況、市内事業者の協力による運行や自動運転技術の導入などの可能性をどう捉えているのか。</p> <p>併せて、小中学校再編に伴う新たなスクールバスの運行に向けて、運行形態やルート設定、コミュニティバスとしての活用など、教育委員会事務局と市長部局が連携した上で事業者と協議しなければならないと考えるが、その検討状況を伺う。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／12日（月）	野村（日本共産党大野市議団）	一問一答方式	<p><b>1 下水道と名水百選 御清水周辺の観光について</b></p> <p>○ 国も下水道から合併浄化槽への転換を呼び掛けている。人口減少・高齢化で加入率が伸びない状況の中、下水道事業の財政についてどのように考えるか。</p> <p>○ 名水百選 御清水周辺の汚水処理を観光面から捉えてどのように考えるか。（地下水位の関係で工事期間が観光シーズンであること、観光資源でもある地下水への影響）</p> <hr/> <p><b>2 補聴器助成制度の拡充について</b></p> <p>高齢者の2人に1人は難聴であると推計されている。難聴は生活の質の低下につながり、認知症のリスクを高めることも明らかになっている。</p> <p>日本聴覚医学会難聴対策委員会は、「平均聴力レベルが40デシベル以上の中等度難聴の方は『補聴器の良い適応となる』」としている。補聴器を使用することが生活の質の向上に役立つ。</p> <p>しかし、購入費が高いことが補聴器を使用する上で大きなハードルとなっている。補聴器の購入費は補装具費支給制度による支援の対象となるが、両耳聴力が70デシベル以上などかなり重い難聴でなければ制度を利用できない。</p> <p>○ 40デシベル以上の難聴者も対象となるように、制度の拡充を行うべきではないか。</p>

令和4年9月 第429回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 12日 (月)	廣瀬 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 令和6年の中学校再編に向けた準備について</b></p> <p>令和6年4月の中学校再編に向けて「新中学校再編準備委員会」が設置され、4つの部会でも1～2回の部会が開催されたようである。次の3点を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ それぞれの部会での話し合いの状況や今後の予定について。</li> <li>○ 下庄小、陽明中、開成中の校舎改修も行われるようだが、改修の目的は何か。おおよその工事の内容、時期、工事費はどうなっているのか。</li> <li>○ 本年3月策定の大野市小中学校施設管理計画との整合性は取れているのか。</li> </ul> <p><b>2 昨年度の降雪に対する大野市の対応について</b></p> <p>令和3年12月議会で、降雪に対する対応について質問した次の2点について、その後の改善状況を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通学路の除雪については、できるだけ通学の時間に間に合うように努力するということだったが、通学の時間に間に合うように市の対応として、どのような工夫をしたのか。その結果、令和2年度と比べて、どれくらい改善されたのか。</li> <li>○ 高齢者等雪下ろし支援事業については、地域にかかる負担を軽減するために変更したが、利用者数はどれほどだったのか。その数は以前と比べて増加したのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／ 13日 (火)	伊東(新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 新型コロナ後遺症の対応について</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の回復後に、倦怠(けんたい)感や原因不明の体の痛みなどが続く新型コロナウイルス感染症の罹患(りかん)後症状(新型コロナ後遺症)。コロナの軽症者でも一定の人が症状を訴え、中には職場復帰が困難なほど深刻な事例も見受けられる。オミクロン株による感染者の急増で、これから後遺症患者が増加することも懸念される。</p> <p>そこで新型コロナ後遺症の対応について3点伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナ後遺症の疑いがある症状に不安を感じ、市に問い合わせや相談などした人はどの程度いるのか。</li> <li>○ 新型コロナウイルスの感染拡大により子どもの罹患者も増加している。子どもが後遺症の疑いのある症状を訴えた場合、学校ではどういった対応をしているのか。</li> <li>○ 後遺症と疑われる症状に苦しんでいる人に向け、後遺症の症状や対策を広報する必要があるのではないかと考えるが、市の見解を伺う。</li> </ul>
			<p><b>2 男性の育児休業・育児休暇の取得について</b></p> <p>厚生労働省の雇用均等基本調査によると、全国的な男性の育児休業取得率は平成22年に1.38割であったものが、令和3年には13.97割と約10倍となっている。政府は令和7年までに30割とすることを目標としているが、地域の取得状況及び取り組みについて3点伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本市の男性の育児休業取得の状況と、大野市育児休業等取得促進事業補助金の「男性の育休取得に係る補助」の利用状況はどうか。</li> <li>○ 男性の育児休業取得率のさらなる向上に向けて、市内の企業や男性へのアプローチは行っているのか。</li> <li>○ 育児支援に当たっては、男性の育児休業のほかに育児休暇の制度を設けている企業もあるが、無給であるために取得が進んでいない。育児休暇を活用し、男性が積極的に育児に参加していけるよう補助制度などで支えていく必要があると考える。</li> </ul> <p>そこで育児休暇を取得した男性に対して、大野市独自の支援制度を確立してはどうか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 13日(火)	梅林(無会派)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 大野市都市マスタープランについて</b></p> <p>○ (改訂)大野市都市マスタープラン(案)では、都市づくりの目標を「誰もが結の心で安全・安心に、にぎわいの中で住み続けられるまち」を掲げているが、市長が目指す「にぎわい」とはどのようなものか。</p> <p>○ 街路樹の管理体制はどのようになっているのか。</p> <p><b>2 大野市の公共下水道事業について</b></p> <p>○ 清瀧、泉町2区・3区の公共下水道の工事に関する説明会が開催されたが、各区の参加人数は。また説明内容に対して住民との合意形成はできたのか。</p> <p>○ 汚水処理の目的は、生活環境を改善すること、自然環境を保全すること、そして循環型社会に近づくこと。この目的達成のため、それぞれの地域に合った汚水処理の手法を選択することが重要となる。さらには人口減少、財政の硬直化等の社会情勢の変化も踏まえた都道府県構想の見直しがされてきている。 その上で地域に合わない選択をすれば、当然事業の目的が達成できなくなる。さらに住民の間にミゾができたり、財政負担が過大になったりする。その判断となる要素は「環境、自治、財政」である。 そこで次の2点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備困難道路、清瀧地区の赤根川左岸側に位置する世帯の汚水処理はどのようになるのか。</li> <li>・ 今回の仮設水道管の敷設・撤去工事費、仮設水道使用料、工事エリアの除雪費等の予算はどれくらいか。</li> </ul> <p>○ 下水道会計においては、営業収益を増やすことが必須だが、加入促進に向けての対策は。</p>



日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／13日（火）	堀田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 中部縦貫自動車道の県内全線開通に向けて</b></p> <p>昨年4月22日にオープンした道の駅「越前おおの荒島の郷」の来場者が8月6日、100万人に達し、同駅で感謝イベントが開かれた。</p> <p>開業1年弱の今年3月末に来場者が75万人を超え、初年度年間目標の38万人を大きく上回まわり、県内全線開通後の来場者数の年間目標80万人に迫る好調な滑り出しとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開駅から1年4カ月、これまでに見えてきた課題やそれに対する対応・対策があれば聞きたい。</li> <li>○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」開駅後の和泉地区の道の駅「九頭竜」の売り上げ状況はどうか。</li> </ul> <p>中部縦貫自動車道の県内全線開通については、本年4月に国より、大野インターチェンジから（仮称）勝原インターチェンジまでの区間が令和4年度、（仮称）勝原インターチェンジから（仮称）和泉インターチェンジまでの区間が令和5年秋の開通を目指すことが示された。また、（仮称）和泉インターチェンジから（仮称）油坂出入口までの区間は令和8年春の開通を目指すと公表された。</p> <p>補正予算案の中部縦貫自動車道対策費に大野インターチェンジから（仮称）勝原インターチェンジまでの開通イベント負担金として200万円計上されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イベントの内容や市内外へのPRについて思いがあれば聞きたい。</li> </ul> <p>また、（仮称）勝原インターチェンジから（仮称）和泉インターチェンジまでの区間が令和5年秋、現在から1年後の開通を目指すとされている。予定通り開通すれば、大野市内の5つ（大野・仮称大野東・仮称勝原・仮称下山・仮称和泉）の全てのインターチェンジのゲートが開かれることになる。北陸道の福井北インターチェンジから直接、道の駅「越前おおの荒島の郷」に来ることができるようになる。それぞれのインターチェンジに役割がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」を起点にしたアウトドア観光の展開策や市内観光施設の回遊性の向上策などがまだ具体的に示されていない。どのように地域資源を磨き上げ、地域経済の好循環につなげていくのか。</li> </ul> <p><b>2 大野市公共施設等総合管理計画の個別施設計画（市道施設）について</b></p> <p>平成29年3月に「大野市公共施設等総合管理計画」を定め、平成30年3月から令和2年3月にかけて、国の個別施設計画の策定基準に基づき、施設類型ごとの個別施設計画として「大野市公共施設等総合管理計画（個別施設計画編）」を策定し取り組んでいる。少子化・高齢化、人口減少が加速する中、市民にとって真に必要な公共施設等を将来世代につないでいくことが求められている。</p> <p>「大野市公共施設等総合管理計画（個別施設計画編）」の市道などの道路施設に関係するものとして、</p>

<p>一般質問（第2日）／13日（火）</p>	<p>堀田（清風会）</p>	<p>一括質問・答弁方式</p> <p>①大野市道路施設長寿命化計画（舗装）、②大野市消雪施設修繕計画（16施設）、③大野市道路施設長寿命化計画（道路照明灯100基）、④大野市道路施設長寿命化計画（街路樹）、⑤大野市道路施設長寿命化計画（歩道）、⑥大野市橋梁（きょうりょう）長寿命化修繕計画（444橋）がある。</p> <p>市道などの道路施設などは市民にとって一番目の付く身近な困りごとであり、市民の要望も多いと考える。</p> <p>まず市道の現状について伺う。</p> <p>○ 市道の路線数と総延長は。また整備されたのはいつの年代が多いのか。道路区分別に聞きたい。</p> <p>○ 令和4年度の新設・改良・舗装などの市道に係る予算はどれくらいか。それぞれの工事発注件数はどうか。</p> <p>○ 道路規格交通量によるが、市道舗装の耐用年数をどれくらいに設定されているのか。</p> <p>○ 市道などの道路施設はどのような周期でどのような点検を行っているのか。また修繕としてどのような工法を取るかの判断基準はあるのか。</p> <p>○ 毎年の市民からの要望件数はどれくらいあるのか。その時の要望の対応はどうか。また優先順位を決めていく上で、「道路メンテナンス会議」みたいなものはあるのか。あれば聞きたい。そして毎年の推定概算額はどれくらいなのか。</p> <p>次に「大野市公共施設等総合管理計画（個別施設計画編）」では「計画期間として、個別施設計画の期間は、2021年度（令和3年度）から2050年度（令和32年度）までの30年間とし、特に2030年度（令和12年度）までの10年間は、各年度に具体的な計画を記載することとします」とある。</p> <p>○ 各個別計画の計画内容はホームページなどに上がっていない。その理由は何か。具体的な計画とはどのようなものか。</p> <p><b>3 自然の中で快適に暮らせる環境について</b></p> <p>平成25年3月に作られた「大野市自転車を活用したまちづくり計画」は、「安全・安心」、「健康・レジャー」、「観光・まちづくり」をキーワードに作成されている。</p> <p>その中で全長9<sup>キロメートル</sup>の真名川河川敷などの自転車歩行者専用道路は、大野市郊外の一般道路を利用したサイクリングコースが設けられ、多くの方がサイクリングやジョギング、散歩などを楽しみながら健康づくりを行う場となっている。</p> <p>その自転車歩行者専用道路で、真名川の左岸河川敷を活用した区間と堤防天端を利用した区間があり、どの区間も雑草の繁茂が年々進行し、その幅員は本来3<sup>メートル</sup>あるところが1～2<sup>メートル</sup>程度に減少し、安全に楽しく歩ける空間とは言いがたい状況である。さらに堤防天端を利用した区間では樹林化も進行し鳥獣のすみかとなることで、有害鳥獣による農作物の被害拡大の一因となる恐れがある。</p> <p>○ 真名川河川敷などの自転車歩行者専用道路の維持管理はどのようになっているのか。</p> <p>また市道と民地の境界や歩道と車道の境界に草が生えて大変危険な状況にあるところもある。歩道を通学に利用したり、また散歩したりする方もいる。市民の日常生活や健康づくり、観光客のまち歩きのため、利便性と安全性を確保し、歩きたくなる道路空間を創出する必要がある。</p> <p>○ 道路や歩道・通学路などの維持管理はどのようになっているのか。</p>
-------------------------	----------------	--

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／13日（火）	木戸屋（未来おおの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 大野市の水害・雪害の防災対策について</b></p> <p>市長の提案理由でも説明があったように、先月8月4日の大雨で、本市も1日の降水量が211ミリとなり観測史上最大となった。それにより床上浸水5軒、床下浸水12軒などの被害が発生した。</p> <p>7月に開かれた第428回定例会の一般質問の中で、全国各地に頻繁に発生する水害の被害に備え、「本市においても治水対策を県と連携しながらしっかりと推し進めていただきたい」、また「大野市独自でできる対策も検討し整備していただきたい」と要望したところである。</p> <p>また、本市において発生しやすい災害として冬期間の雪害がある。降雪量が多い日の通勤・通学時の交通手段や安全確保、高齢者のみの住宅における屋根雪下ろしについては、毎年、市民の間で大きな問題となっている。</p> <p>そこで、次の点を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本市における8月4日に発生した水害の詳しい被害はどのような状況だったのか。また、その被害を小さくするためにどのような対応を行ったのか。</li> <li>○ 今回の水害の状況や対応を踏まえて、その評価をどのように分析し、今後の対策にどのように生かしていくのか。</li> <li>○ 昨年度改定した屋根雪下ろし支援についての成果と課題は何か。</li> <li>○ 通学路の除雪対策について、本市が配慮している点は何か。</li> </ul>
			<p><b>2 「株式会社平成大野屋」の経営について</b></p> <p>大野市の第3セクターという形式で経営している「株式会社平成大野屋」の経営状況について、第428回定例会において令和3年度事業報告や決算などの報告を受けた。この会社は、平成11年に資本金3,000万円で株式会社として設立し、本市はその半数を超える株を有し、代表取締役は副市長が担っている。しかし、毎年多額の委託料を市が投入しているにもかかわらず、経営状況はあまりよくない。特に、コロナ禍の影響とはいえ、令和2年度・3年度は大きく赤字を出している。</p> <p>そこで次の点を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「株式会社平成大野屋」設立時に掲げた目的に関して、これまでの評価をどう考えるのか。また経営上の問題点を大株主である市はどのように考えているのか。</li> <li>○ 今後、市としてどのように対応していくのか。</li> </ul>

令和4年9月 第429回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／13日 (火)	高岡(双葉会)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 市長の政治姿勢について</b></p> <hr/> <p>○ 大野市の行財政改革の進捗(しんちよく)はどうか。</p> <p>○ 市長が考えるまちづくりは産業でいくのか観光でいくのか。</p>
			<p><b>2 教育長の政治姿勢について</b></p> <hr/> <p>○ 中学校改修工事と小学校改修工事でどのように変わるのか。</p>